

山南町上久下地区で 世界最小の恐竜卵化石を発見！

6月23日、県立人と自然の博物館と筑波大学が、山南町上久下地区で世界最小の恐竜卵化石を発見し、「ヒメウーリサス・ムラカミイ」と命名したと発表しました。同地区で発見された卵殻化石は6種類となり、前期白亜紀の地層において、世界で最も卵殻化石の種類が豊富な地域になりました。

化石発見者の一人である村上茂さんは「国内最大級の丹波竜と世界最小の卵の発見で、生物の多様性が分かってよかった」と話しました。



卵化石が発見された場所を指差す村上さんと卵化石（左図）

市と大塚製薬（株）が 熱中症対策で連携

新型コロナウイルスの影響で熱中症リスクが高まる今年、市と連携協定を結ぶ大塚製薬が、熱中症対策アドバイザー養成講座の実施やスポーツドリンクの提供で連携することになりました。スポーツドリンクは市内小中学校や健康教室などで配布され、熱中症への注意を呼びかける予定です。

大塚製薬(株)大阪支店長の藤原康宏さんは「熱中症ゼロを目指していきたい」と話しました。



スポーツドリンクの模型を持つ藤原支店長（左）と谷口市長

氷上回廊水分れフィールドミュージアム ロゴマークが完成



完成したロゴマーク

6月29日、来年3月にリニューアルオープン予定の氷上回廊水分れフィールドミュージアムのロゴマークが決定しました。ロゴマークは山々に囲まれた盆地や水の流れ、中心の点で「水分れ」を表現しています。

今後は様々な場面でロゴマークが利用され、オープンに向けて市全体が盛り上がっていくことが期待されます。

間伐材の活用で環境に優しい地域をめざす 地域おこし協力隊員が着任



谷口市長から委嘱書を手渡された小野田さん（右）

7月1日、市内の間伐材を活用する「木の駅プロジェクト」を市内全域に広めるため、神戸市出身の小野田徹さんとおるが地域おこし協力隊に着任しました。環境に優しい地域をめざし、木屑を堆肥として活用する方法を探るなど、林業・農業の連携にも取り組みます。

小野田さんは「会社経営の経験を生かして、資源の活用方法を探っていききたい」と意気込みました。